

「エネルギー医学の究極の鍵・意識」シリーズ・第1回 「意識研究の流れ」 & 「心理学における意識」

「意識はエネルギーの最高レベルの形態である」・・・これは、かの『バイブレーションルメディスン』を著したリチャード・ガーバーの名言です。エネルギー医学を、ボディケア、レメディ、エネルギー機器などのさまざまなアプローチから実践・追求していくと、共通のキーワードとして必ず「意識」に突き当たることになります。

そこで、このエネルギー医学研究会では、いよいよ満を持してこの究極のテーマである「意識」を今年度のテーマとして、さまざまな角度の視点から意識を追究する渾身の連続講座を行うことにいたしました！

毎回、講師のレクチャーの後にダイアログを行いながら、しっかりと追究していきます。お待ちしております！

★「意識とは何か ～意識研究の流れ」

降矢英成 (赤坂溜池クリニック院長)

「意識」とは何か・・・この問いは、古今東西の人間の根源的な問いとして綿々と繋がれてきたものですが、実は「意識」そのものの定義もまだはっきりしていません。スタートは、『意識』スーザンブラックモア (岩波書店) を基盤として、意識の「生理学的研究」から、「意識の発達」、「高次の意識」までの意識研究の全体的概要をご紹介します。

★「心理学における意識の研究と歴史」

川畑のぶに (NPO法人サイモントン療法協会代表理事、心理療法家)

心理学がさまざまな学問の中でも謎めているのは、こころ (心)、意識、ときとして魂といった、つかみどころのない、それでいて私たちの本質を説明する鍵となりそうな対象を扱うからでしょう。心理学の先人達は、こころや意識をどのようにとらえ、研究してきたのでしょうか。心臓や脳が活動を停止したとき、私たちの意識はどうなるのでしょうか。無意識、超意識、集合意識、クオリアなどもキーワードに、心理学分野から意識の理解を試みます。

★スピエネット対話<ダイアログ> 降矢英成 × 川畑のぶに

第1回目は、意識についての全体像と心理学での知見について理解を深めます

■日 時:2020年10/3(土)13:30~16:45

■場 所:ワイルド御茶ノ水貸会議室 ルームB

千代田区神田駿河台2-1-20 お茶の水ユニオンビル4F
(ビル入口は手前の路地に入り、奥右手に見える三角屋根のところです。)

■参加費:zoom 受講もできます

シリーズ全4回 ①会員 8,000円 ②一般 12,000円
今回のみ参加 ③会員 2,500円 ④一般 3,500円

*会員とは主催、共催、協力団体の会員を指します。

■申し込み手順

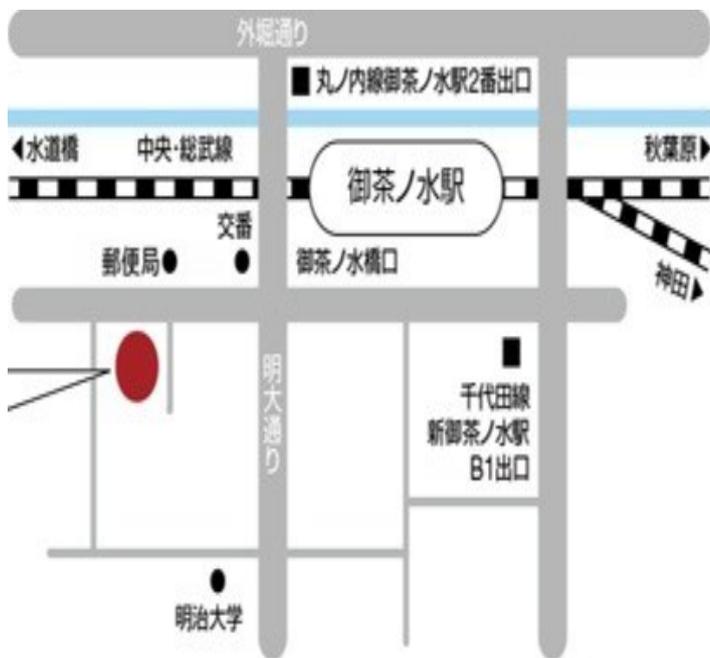
1. 必要事項(1 氏名、2 住所、3 電話、4E-mail、5 所属(①会員(団体名)・②一般、6 zoom 受講の希望の有無)を、
ho-kanto@tg.rim.or.jp へ

(締切 9/25(金))。*または、FAX で 03-5572-8219 まで。(当日のみ携帯:080-5484-8008)

2. 申し込み受理のお知らせ到着後 1 週間以内にお振込み下さい。 三菱UFJ銀行 西新宿支店(普通)0057567

特定非営利活動法人日本ホリスティック医学協会

3. お振込み後、受付完了となります。お振込後の参加費はご返却できませんので代理受講でご対応をお願い致します。



<主催>NPO 法人日本ホリスティック医学協会関東フォーラム委員会 (生活習慣病予防指導士3単位)

<協力>日本アントロポソフィー医学のための医師会、日本ホリスティック心理学協会、NPO 法人日本ヒーリングタッチ協会、NPO 法人サイモントン療法協会、日本トランスパーソナル学会

＜2回目以降の連続フォーラムの日時・内容＞

全4回：主催・共催・協力団体の会員8,000円、一般12,000円

各回：主催・共催・協力団体の会員2,500円、一般3,500円

★フォーラムⅡ：2020年12月5日（土）13：30～16：45（会場：ワイム御茶ノ水）

“脳・身体”から観る「意識」と「哲学」から追究する「意識」

- ・「“脳・身体”から観る「意識」とは？」 小笠原和葉（ボディワーカー、ポディー・サンクチュアリ代表）

私たちが人生で経験することの全ては「意識」が経験することですが、3次元の物質である肉体が、どのようにしてそれを生み出すかについては未だに議論のさななです。このパートでは「脳」や「身体」がどのように意識を生み出しているかについての議論の現状をご紹介します。

- ・「意識を巡るディベート」 戸田美紀（環境学博士、NPO法人日本ヒーリングタッチ協会会長）

意識に統一された定義はありません。「意識とは何か？」という人間の根源的な問いは、様々な学問領域で研究され、様々な見方や考え方が提示されています。いくつかの意識の捉え方の違いやその論点を取り上げ、意識に対する認識を広げ、考えを深めていきたいと思えます。

○スピエネット対話＜ダイアログ＞ 小笠原和葉 × 戸田美紀

2回目は“脳”や“身体”から観た「意識」と、哲学の領域で検討されている「意識」について深めます。

★フォーラムⅢ：2021年2月6日（土）13：30～16：45（会場：ワイム御茶ノ水）

「意識」の“発達段階”と“秘教”から観た「意識の界層」

- ・「意識研究」とケン・ウィルバーのインテグラル理論の展開 久保隆司（早稲田大学講師、日本ソマティック心理学協会会長）

1990年代以降の「脳科学」や「心の哲学」による意識研究を背景に、ケン・ウィルバーの「インテグラル理論」における意識段階論を見ていきます。さらに、このような文脈においての、「汎心論」への注目と進化の「オメガポイント」について、みなさんと考えていければと思います。

- ・「秘教における意識の定義とその進化」 神尾 学（エソテリックサイエンス・スクール主宰）

秘教は、宇宙を創造した霊的存在を認める、形而上学的宇宙論です。この宇宙は発生とともに陰陽～霊と物質の2極が現われ、霊の波動に物質が共鳴できる段階まで進化させるという目的をもちます。その霊が物質と関係しあう際に生まれるのが魂であり、その魂が意識をもたらす、物質的な意識の段階から霊的なゴールまで導く役割りを果たします。

○スピエネット対話＜ダイアログ＞ 久保隆司 × 神尾 学

3回目は、意識の発達について、そして「高次の意識」についても追究して深めます。

★フォーラムⅣ：2021年4月10日（土）13：30～16：45（会場：未定）

“形態形成場”から観た「意識」と「集合意識」とエネルギー

- ・「意識を語る上で必要不可欠な概念である“形態形成場”」 根本泰行（理学博士、オフィスマサルエモト顧問）

ルパート・シェルドレイク博士が提唱した“形態形成場”という概念は、個人の意識と集合意識の両方を考える上で極めて重要です。“形態形成場”の実体は何なのか、ということについては、直接的な証拠は得られていませんが、それが存在することについては、さまざまな実験で科学的に検証されています。“形態形成場”についての解説を行うとともに、“形態形成場”を考えることによって、意識の捉え方がどのように変わるのか、についても説明いたします。

- ・「“集合意識”を「意識」と「エネルギー」から読み解く」 寺岡里紗（Info Therapy セラピスト）

集合意識の中でも「受動的な意識」と「能動的な意識」によってその共鳴度が変わるのか？ 「受動的な意識」はREGという装置を使って世界中で起こる出来事と人の意識の共鳴度を測定、記録することで見ることが出来ます。しかし「能動的な意識」では意識の送り手と受取り手という双方が強く結びつくことで現れる驚くべき変化について、最新の報告をもとに意識エネルギーについて解説します。

○スピエネット対話＜ダイアログ＞ 根本泰行 × 寺岡里紗

最終回は“形態形成場”と“集合意識”から観た「意識」について深めます。